

# CO・OP

## 京都の生協

2013/August/No. 81  
京都府生活協同組合連合会



ていねいに暮らすこと、美しく暮らすこと、アートとともに暮らすこと  
——「簡素さというぜいたく。愛着という豊かさ」とは？

### TalkTalk トークとーく

●大阪教育大学 名誉教授 田中恒子さん  
●京都府生活協同組合連合会 会長理事 上掛としひろ博

# 対談

## TalkTalk

トークとーく



ていねいに暮らすこと、美しく暮らすこと、アートとともに暮らすこと

——「簡素さという豊かさ」とは？

大阪教育大学 名誉教授

京都府生活協同組合連合会 会長理事

田中恒子  
上掛利博

ようこそ、いらっしやい！——明るい声にみちびかれて田中さんの自宅玄関に入ると、その先には緑の風がとおりぬける中庭と、壁一面に貼られた何枚もの美術展のポスター、棚や床に置かれたオブジェ、そして、恒子さんの満面の笑みがありました。住居学の研究者・教育者として、ながらく大学で教鞭をとられ

た田中さんは、現代アートのコレクターでもあり、その自宅には教え子や若き作家たちがつどいます。大皿に盛られた、やさしい味のお昼ごはんは、生活を創造行為ととらえて楽しみ、アートと語り合い、子どもを愛し、自身の変化をも楽しむ田中さんの、ダイナミックさと滋味にあふれる姿そのものようでした。

### 変化こそ生きる楽しみ。 人生を二度生きよう！

上掛 田中先生は、たびたび「田中恒子とい

う存在が変化しているのがおもしろい。変化することこそ、人生の楽しみだ」とおっしゃっています

ただ、いずれ定年退職をしたら、「人生を二度生きよう！」とは思っていません

う存在が変化しているのがおもしろい。変化することこそ、人生の楽しみだ」とおっしゃっています

ただ、いずれ定年退職をしたら、「人生を二度生きよう！」とは思っていません

ただ、いずれ定年退職をしたら、「人生を二度生きよう！」とは思っていません

#### C/O/N/T/E/N/T/S

##### トークとーく対談

ていねいに暮らすこと、美しく暮らすこと、アートとともに暮らすこと	2
消費者月間シンポジウム・地方消費者グループ・フォーラム全国発表会	7
適格消費者団体・NPO法人消費者支援機構 関西総会	7
適格消費者団体・NPO法人京都消費者契約ネットワーク総会	7
京都府生協連 第60回通常総会開催	8
2013年国際協同組合デー 第24回京都集會	10

##### 2012国際協同組合年

——協同組合が真に「協同」の受け皿になるために	11
協同組合の担い手が語る	11
ピースアクション京都2013	12
京都の生協・平和のつどい	13

##### TOPICS

●きょうと食育ネットワーク通常総会	14
●第1回きょうと食の安心・安全意見交換会	14
●京と地球の共生府民会議総会	14
●京都くらしの安心安全ネットワーク情報交換会	14

●京都府災害ボランティアセンター総会	14
●京都市ゴミ減量推進会議総会	14
●京の農産物あんしんネットワーク総会	15
●「生協の電力事業研究会報告書」学習会	15
●省エネ・節電調整連絡会議	15
●学習交流企画「わたしの省エネ・節電宣言 ~2013年夏」	15

##### 京都府生協連 第8回

「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」	16
おもな行事のお知らせ	16



上掛 利博

京都府生活協同組合連合会 会長理事



田中 恒子さん

大阪教育大学 名誉教授

## 現代アートは語りかける——アートと暮らす楽しさ

上掛 評価の定まった美術作品がすでにあるのに、あえて現代美術に関心が向かわれたのはなぜですか。

田中 よく「印象派の絵はわかるけど、現代アートは全然わからない」とか「印象派の絵は好きだけど、現代アートはちよつと……」という話がありますよね。でもそれは、印象派が生まれたヨーロッパの時代背景や、その時代に生きた作家の葛藤を理解したうえで言葉でしょうか？ わたしはそこがすごく疑問なんです。

現代アートの作品を見たとき、胸ぐらをつかまれたような気持ちというか、「あな たって、どういう人ですか？ ぼくを理解できますか？」と問われているような気がしました。わたしがアートにもと

めているのは、「やさしさ」とか「わかりやすさ」ではなくて、わたしと育ち合い、高め合う関係性なので、そういう問いかけを発してくれる現代アートに惹かれるんですね。

上掛 「作品と育ち合い、高め合う」というのは、具体的に……。

田中 落ち込んだときにポーツと作品を見てみると、「しつかりしなさい。そんな時間があったら、何か行動しなさい」と、しかったり、励ましたりしてくれる。たぶん、それはわたし自身が自分にいきかせている言葉の投影なのだけど、作品に向かい合っているときはすごく素直になれるから、作品にいわれているような気がするんですね。

田中 そう。それに、はじめて作品を買って、家に置いたときは、帰宅して作品に会うのが毎日の楽しみでした。わたしの実の子どもは2人しかいないけれど、作品も家族だと思っているので、作品を買うたびにどんだん大家族になっ ていく。その家族たちが待っていて、学校でしんどいことがあった日でも、「ただいま。いま帰りました」というと、「おかえり」といってくれるんです。それがすごくうれしかったですね。\*

上掛 田中先生は、住居学者として、人の住まいのあり方について提案されてこられ

ました。アートの存在は、「住生活の質」を上げてくれますか？

## 「狭いから片づかなう」のではない——簡素さとくらしをいかに

田中 もちろん！ すでに美術館に寄贈したので家には

ありませんが、以前、高松次

方について提案されてこられ

ますか？

田中 もちろん！ すでに美術館に寄贈したので家にはありませんが、以前、高松次



\*「自宅から美術館へ」

田中恒子さんが収集された現代美術は、作家数100人・作品数約1000点をこえます。奈良美智「どんまいQちゃん」、村上隆「MR.DOB」をはじめとする作品群は、2009年、和歌山県近代美術館に寄贈されました。同年10月、「自宅から美術館へ」展が開催され、注目をあびました。



郎さんの版画を居間に飾って

## 生活のハウツーは自分で創るもの

上掛 「生活の質」を上げる技術（ハウツー）は、少しは身につけたほうがよいのでしょうか。

田中 ハウツーは必要ですが、家事や収納のハウツー本に書いてあるとおりにする必要はありません。わたしの家では、この引き出しには紙類、その隣の引き出しには電気関

いたんです。そのころは、いつも、その美しさに感動していましたね。「うわっ、きれい！」と（笑）。

アート作品を自分の生活スペースに置いてみると、わたしも作品を見るけれども、作品もわたしを見ていような感じがする。その「見られている」という感じも、生活に緊張感が生まれて、すごく好きですね。

上掛 住まい方について、先生は「簡素さというぜいたく。愛着という豊かさ」という考え方を提示されていますね。

田中 それは、生活経済学者の暉峻淑子さんが書かれた『豊かさとは何か』（岩波新書、

1989年）を読んだときに、「住居学者たる田中恒子は、この問いかけにどう答えるのか」と考えて、見いだした答えです。つまり、「愛着のないものをたくさん持っているのは貧しいこと。愛着のある少しのものだけに囲まれて過ごすのがほんとうに豊かな生活なんだ」ということで、いまもそう思っています。

上掛 「簡素さというぜいたく」というのは？

田中 わたしは住み方調査をとおして、3畳一間の家から清家清さんという有名な建築家が建てた家まで、いろいろな日本の住宅に上がり込んで、その暮らし方を見てきま

した。そうすると、立派な家で、物質的にはとても豊かなのに、雑然と暮らしている人もいれば、逆に、6畳と4畳半の民間木造アパートで、きりつと暮らしている人もいますね。

この調査から、わたしは学びました。よく「うちは狭いから片づかない」という話が出るけれど、狭いから片づかないのではなくて、狭い空間に対応するような暮らし方のハウツーをつくっていないから片づかないのだということ。狭いなら狭いなり物の持ち方があるはずで、ほんとうに必要な物だけを選んで持つことが大事だと思います。

創るものですから、どうすれば心地よくすごせるか、どうすれば美しくなるか、どうすればおいしくなるか、自分であれこれ工夫してみることが大事です。それはまさに創造行為ですから、お料理も、そうじも、生活はすべて創造だと思えます。

上掛 つまり「生活を創造する」というのは、生活を楽しく美しいものにする工夫のなかで、「知恵や心を遣って

いく」ということですか。

田中 そう。たとえば、わたしはお客さまが大好きだから、みなさんに召し上がっていただくお料理をつくるのも大好きです。お金のかかる高級食材は使っていません。高級食材を使うと、「お客さまのたびにお金がかかるわ」と思っ、だんだん、よばなくなるでしょ？ それよりも、「ふつうのものですけど、どうぞ」といってお出しするほ



うが長続きするから、わたしはお金を使わない代わりに心を遣<sup>つか</sup>っています。

上掛 なるほど、「お金ではなく心を遣<sup>つか</sup>う」、それが「簡素さというぜいたく」の中身ですね。

田中 そう思います。それから、テーブルや床をきれいに拭いたり、物を整理整頓するのは、ていねいに暮らすうえでの第1ステップですが、

第2ステップは生活をより美しくすることだと思います。

たとえば、お花を一輪飾ったり、見えないほうがよいと思うものは隠したり、見えたほうがいいものは、より美しく見えるような置き方を考えてみたり、そういう工夫は、それぞれの人の好みで決めればいいので、ハウツー本に正解が書かれているわけではありません。

上掛 お客さまを招くのが好きだということは、この家

がかもしだすオープンな雰囲気からも、よく伝わります。田中 玄関に立つと、中庭の向こうに居間が見えて、なんとなく雰囲気が変わるでしょ？ いつも、だれにでも開かれた家にしたかったから、居間においても玄関のようすがわかるような設計にしました。でも、狭くても、人が集まり

やすい家はできますよ。わたしたち夫婦が結婚生活をはじめたのは6畳と4畳半の木造

アパートでしたけど、10人以上の人が集まって、みんなでくっついて話したり、ご飯を食べたりしていました。狭くても、みんなが「楽しい」といって、来てくれたんです。みんなが気持ちよく来てくれる家は、狭いからできないという事ではないと思います。

## ほんとうの「学び」は、生活を変える力をもっている ——「窓はなぜあるのだろう」「の授業づくり

上掛 さきほど、「生活とというのは、だれかに正解を教わるのではなく、自分で創造するもの」というお話がありました。これまで、何かを学習するとき、「正しい答えをみんな学びましょう」という姿勢がよかったです。

が、これからは、そうではなくて、「なぜ、こうなっているのか」とか、「違う立場や観点から見れば、どう見えるのだろうか」というような、もう少し「深い学習」が大事ではないかと思うのですが。

田中 わたしも同感ですし、そういう学びに有効なのは

ワークシヨップ型、体験型の授業ではないかと思えます。というのも、大学教員のと、小学校の先生たちと共同で、5年生向けに「窓はなぜあるのだろうか」という授業づくりをしたことがあります。

窓の働きは季節によって違うのか、外の景色が見えることで人間の心理状態も変わるのか、といったテーマについて学んだあとで、冬の換気の大切さと窓の換気機能について、いろいろな実験を通して学ぼうという授業です。

上掛 その事例については、わたしも『くらしと教育をつ

なくWe」という雑誌で読んだことがあって、なるほどなあと感じました。寒い冬に窓を開けても、窓を閉めた3分後には室温が戻るということを、実験を通して学ぶという授業ですね。

田中 そうなんです。換気扇を回すだけでは空気が空回りしているだけで、じつは換気はできていない。窓は空気の入出口としての機能ももっている。そういうことを教えるために、実際に煙をたいてみせると、子どもたちは納得します。

その次に、「空気を入れ換

えるために3分でいいから両側の窓を開けましょう」というと、子どもたちは「寒いー！ そんなこと、できへん」といつせいに声をあげるけれど、「いや、閉めたときに暖かくなるよ。やってみようね」といって、3分だけパツと窓を開ける。そうすると、開けた瞬間に寒くなるのではなくて、徐々に寒くなる。

でも、窓を閉めた瞬間、子どもたちは「あれっ?! 寒くない」と気づくんですね。それで、温度計で室温を確認させて、「じつは壁や床や机やみんなのからだから熱を放出するの。だから、部屋の温度はみるみる戻るのよ」と話すと、子どもたちは感動します。





冬の換気の大切さを熱心に  
 説明しておられた養護教諭の先  
 生は、それまでいうことを聞  
 かなかつた子どもたちが、こ  
 の授業を受けてから変わった

## だれでも変わることができる。 その変化を楽しんでほしい。

上掛 田中先生のコレク  
 ションは、若い作家の作品が  
 多いように思います。とくに  
 若い人たちに伝えたいこと  
 は？

田中 わたしは若い人たちが  
 が大好きだし、彼らと育ち合  
 いたいという気持ちはいまも  
 あります。それはたぶん、大  
 学教員だったからでしょうね。  
 だから、村上隆や奈良美智の  
 作品も初期に買いました。そ  
 のころの彼らは「アート熱中  
 少年」そのものでしたよ(笑)。

ということを、手紙で教えて  
 くださいました。この授業で  
 学んだ子どもたちは、6年生  
 になっても、先生がひとこと、  
 「5年生のときに学習した

退職前の3年間、大学の附  
 属中学校の校長を兼任したと

き、周りから「風変わりな校  
 長だ」といわれました。とい  
 うのは、いつでも子どもたち  
 の話を聴けるように、校長室  
 を開放したんです。そうやっ  
 て子どもたちの話に耳を傾け  
 るうちに、多くの子どもたち  
 は自分が愛されていることに  
 気づいていなくて、それが子  
 どもたちを苦しめている、と  
 いうことに気づきました。

子どもたちが親に愛されて  
 いると実感しにくい背景には、  
 しばしば命的命的な人間関係が  
 存在しています。受験校の選  
 択も、子ども自身の意志では  
 なく、親の望みだったりする  
 わけです。でも、人は、命令  
 的な人間関係のもとでは伸び  
 ないんですね。だから、現役  
 の教師として教壇に立ってい  
 る教える子どもたちが家に来ると、

ね」というだけで、冬でも窓  
 を開けるそうです。

子どもたちは、「換気をし  
 なさい」と命令されても動か  
 ないけれど、理解したり、感

わたしは「子どもたちに、君  
 のことを愛していますと伝え  
 なさい」といいます。自分は  
 愛されているのだと子どもた  
 ちに気づいてほしいし、親や  
 教師はそれを伝えるべきだと  
 思います。

それと、親は子どもを口先  
 でほめるのではなく、実物を  
 見ながら、ちゃんと認めてあ  
 げてほしい。わたしの子ども  
 が小学生のころ、図画工作の  
 授業で描いた絵を返してもら  
 うと、必ず子どもの目の高さ  
 のところに貼って、「これ、  
 ほんとに上手に描けてるね」  
 とほめていました。それだけ  
 で子どもはワクワクするん  
 です。「こんな下手な絵を飾る  
 なんて」と捨ててしまうお母  
 さんが多いけれど、すごく  
 もったいないと思います。

上掛 それこそ「愛着とい  
 う豊かさ」の実践ですよ！  
 田中 そうですね。子ども  
 の作品は「宝物」ですから、  
 そこに「豊かさ」を見いだし

動したら窓を開けるんですね。  
 だから、ワークシヨップのよ  
 うな、少し踏み込んだ学習は、  
 生活を変える力をもっている  
 と思います。

てほしいですね。

もうひとつ、どうしても若  
 い人に伝えたいのは、生きる  
 ことのおもしろさは自己変革  
 のなかにあるということだ  
 自分を変わりつづけることが  
 できる。そこに人生のおもしろ  
 さがあるのだから、いまの  
 自分を「ぼくは無力だ。能力  
 がないんだ」と固定的に見な  
 いでほしい。わたし自身、い  
 まもまだ、日々変わりつづ  
 ける自分に向き合っているし、  
 たぶん死ぬまで田中恒子の可  
 能性って何だろうと追求して  
 いると思います。

上掛 「変わること」のほ  
 うが、自分を固定的にとらえ  
 るよりも、ずっと楽しいで  
 しょうね。恒子先生のお話を  
 うかがって、生きること「  
 「くらし」というのはとても  
 総合的で創造的なものなの  
 ということをあらためて考え  
 させられました。どうもあり  
 がとうございました。

(写真撮影：有田知行)

### プロフィール：田中恒子(たなか つねこ)

- 1963年 大阪市に生まれる  
 大阪市立大学家政学部卒業、京都大学工学部建築学科研  
 究生
- 1965年 京都大学工学部建築学科建築計画研究室文部技官
- 1988年 奈良教育大学教育学部講師・助教授・教授(家庭科教育  
 法・住居学)
- 1995年 大阪教育大学教育学部教授(家庭科教育学)
- 2003年 大阪教育大学附属平野中学校長・附属高校平野校舎主任
- 2006年 大阪教育大学名誉教授

#### ◎美術活動

- 日本人現代美術作家の作品を初めて購入する(1989年)
- 枚方市御殿山生涯学習美術センター運営委員

- 「美術館にアートを贈る会」副理事長
- 国立国際美術館評議員

#### ◎生協活動

- くらしと協同の研究所理事・研究委員会委員
- 全国大学生協連女性の服委員会委員長
- 奈良教育大学生協理事長
- など歴任

#### ◎おもな著書

- 『新しい住生活』(連合出版、1983年)
- 『住まいと子育てノート』(新日本出版社、1991年)
- 『あなたが住居の主人公になるために』(大蔵省印刷局、1992年)
- 『育ちあいの家庭をつくる』(かもがわ出版、1997年)
- 『家族と健康にやさしい住まい』(福田啓次ほか共著、かもがわ出版、1998年)など、多数。



消費者月間シンポジウム・地方消費者グループ・フォーラム全国発表会  
**近畿ブロック代表で京都消費者力向上委員会が報告**

5月27日(月)、東京・三田共用会議所で消費者庁主催による消費者月間シンポジウムが開催され、2012年度地方消費者グループ・フォーラムのなかから、全国8プロックの代表が活動報告をおこないました。

近畿ブロックの代表は京都消費者力向上委員会、京都府生協連・坂本茂専務補佐・事務局長(兼務、当時)が地方消費者行政活性化基金を活用した京都府内での事業内容について発表しました。



消費者庁キャラクター「アブナイカモ」と阿南久長官



京都府生協連・坂本茂専務補佐・事務局長(兼務、当時)が報告

京都消費者力向上委員会は、京都生協、NPO法人コシニシューマーズ京都、適格消費者団体・NPO法人京都消費者契約ネットワーク、京都府生協連で構成され、「放射性・放射線物質と食品への影響」などのテーマで京都府からの委託事業をおこないました。

同委員会は、全国消費者団体連絡協議会・いきいき消費者行政パートナーシップ表彰をうけました。

適格消費者団体・NPO法人  
**消費者支援機構関西(KC's)総会**

6月22日(土)、エル・おさかで開催されました。提案された2012年度事業報告・決算はじめ全議案を承認しました。2012年度の特徴的な活動として、民間賃貸住宅業者にたいし、「追出し」契約条項の差止訴訟、美術通信教育講座を運営する会社にたいする契約条項の差止訴訟などをおこないました。

京都府生協連・横山治生専務理事がKC's理事をつとめています。

総会終了後のシンポジウムは「集団的消費者被害回復制



消費者支援機構関西(KC's)・榎彰徳理事長



集団的消費者被害救済制度とKC'sの役割をテーマに

適格消費者団体・NPO法人  
**京都消費者契約ネットワーク(KCCN)総会**

5月24日(金)、京都司法書士会館で開催されました。同ネットワーク高寛英弘理事長が開会あいさつをおこない、長野浩三理事・事務局長が議案提案。「2012年度事業報告」「活動計算書等」「次期理事・監事の選任」など全議案を承認しました。

総会後、「民法改正と消費者保護」と題して記念講演会が開催されました。法務省・筒井健夫大臣官房参事官から、「民法(債権関係)の改正に関する中間試案」に至る審議経緯について報告がありました。

法務省・内田貴経済関係民刑基本法整備推進本部参与からは「民法改正」(民法(債権関係)改正の中間試案(案)について)をテーマにご講演いただきました。

京都府生協連・坂本茂専務補佐・事務局長(兼務、当時)が同ネットワーク副理事長をつとめています。

# 京都市生活協連 第60回通常総会開催

## 全議案を満場一致で可決、役員20人を選任、総会アピールを採択

6月18日(火)、午後1時30分から池坊学園洗心館で、京都市生活協同組合連合会第60回通常総会を開催しました。総会の代議員数は43人で、本人出席34人、委任出席1人、書面出席7人でした。ご来賓をはじめ、74人の参加となりました。



開会のあいさつをする上掛利博会長理事

上掛利博会長理事が開会のあいさつをのべ、つづいてご来賓の京都府民生活部・小林裕明部長(京都府・山田啓二知事代理)、京都市生活協同組合連合会第60回通常総会・細田一三会長から、ご祝辞をいただきました。

酒向直之事務局次長(当時)が、国会議員、各関係団体、各生協からいただいた76通の祝電・メッセージを紹介しました。

提案されたすべての議案が、満場一致で可決されました。員外理事をふくむ18人の理事と2人の監事が選任されました。

2013年度の役員体制は左ページのとおります。

最後に、坂本真有美理事が総会アピールの採択について提案し、拍手で確認しました。



### 今回退任された役員のみなさん (敬称略)

- 副会長理事 大島 芳和 (京都生活協同組合常務理事)
- 理事 勘解由 貢一 (やましろ健康医療生活協同組合専務理事)
- 理事 鯉 迫 裕子 (龍谷大学生生活協同組合専務理事)
- 理事 姫 野 恭博 (京都教育大学生生活協同組合専務理事)
- 監事 末 廣 恭雄 (京都府府民生活協同組合専務理事)

### 祝電・メッセージをお寄せいただいた方がた (敬称略・順不同・6月18日現在)

- |                        |                      |                            |
|------------------------|----------------------|----------------------------|
| 自由民主党衆議院議員 安藤 裕        | 自由民主党衆議院議員 宮崎 謙介     | 自由民主党参議院議員 二之湯 智           |
| 民主党衆議院議員 前原 誠司         | 民主党衆議院議員 山井 和則       | 民主党参議院議員 福山 哲郎             |
| 民主党参議院議員 松井 孝治         | 公明党衆議院議員 竹内 譲        | 日本共産党衆議院議員 こくた 恵二          |
| 日本共産党参議院議員 井上 さとし      |                      |                            |
| 京都市長 門川 大作             | 京都府社会福祉協議会会長 増田 正蔵   | 京都市社会福祉協議会会長 村井 信夫         |
| 京都商工会議所会頭 立石 義雄        | 京都府農業協同組合中央会会長 中川 泰宏 | 京都府漁業協同組合連合会代表理事会長 佐々木 新一郎 |
| 京都府森林組合連合会代表理事会長 梅原 久弘 |                      |                            |

### 総会アピール

人が人として大切にされる平和な社会をめざして、協同組合の基本的価値を社会に広げましょう!

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から2年3カ月が経過しました。被災地では震災からの復興が遅れ、いまだ原発事故の収束も見通しがついていません。引き続き全国の生協とともに被災地の生活再建にむけての支援が必要ですよ。

株価高騰と円安によって一部の輸出関連企業では業績が向上していますが、輸入原材料の高騰による、電気・ガス料金や食料品などの生活必需品の値上がり相次いでおり、安定した生活の実現にはほど遠い状況です。

脱原発方針の見直し、TPP交渉への参加、消費税増額、憲法改正に向けての動きなど、日本の将来を左右する重大な問題について十分な国民的議論が尽くされないうまま加速にすすめられようとしています。とりわけ憲法改定については96条の改正については、日本国憲法の基本原則のひとつである立憲主義の考え方や恒久平和の精神を大切にす立場からも、注目していかねばなりません。「健全な生活環境が確保される権利」「必要な情報が提供される権利」など、消費者基本法にも規定されている「消費者の権利」の視点に立って、国民合意を形成していく必要があります。

節電について消費者意識は大きく変化し、省エネを心がける実践がくらしと事業の中に根付いてきました。原発に依存しない再生可能エネルギーへの期待や自分の使いたい電力を選択する仕組みを求



# 12人が活発に発言

当日は12人の代議員・理事・オブザーバーから、地域生協・大学生協・医療生協・職域生協の活動について11件の発言がありました。

これらの発言をふまえ、横山治生専務理事が「この一年の多様な活動について報告をいただきました。生協にたいする社会的評価が高まっていることを実感しました。これらをもまえ、こんごの京都府生協連の活動の糧にさせていただきます」とまとめをおこないました。



横山治生専務理事がまとめ報告

## 2013年度体制

6月30日現在(敬称略)  
\*印は新任

- 代表理事・会長理事 上掛 利博 (員外)
- 代表理事・副会長理事 中森 一朗 (京大学生協同組合専務理事)
- 副会長理事 鯨江 賢光 \* (京都生活協同組合常務理事)
- 代表理事・専務理事 横山 治生 (員外)
- 常任理事 今西 静生 (京都市庁生活協同組合専務理事)
- 常任理事 沼澤 明夫 (大学生協同組合京都事業連合専務理事)
- 常任理事 廣瀬 佳代 (員外)
- 理事 大川 肇 (全京都勤労者共済生活協同組合専務理事)
- 理事 小野 留美子 (乙訓医療生活協同組合専務理事)
- 理事 上総 紫香子 (生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ常任理事)
- 理事 加藤 節子 \* (やましろ健康医療生活協同組合常務理事)
- 理事 児玉 恵美 \* (京都工芸繊維大学生協同組合専務理事)
- 理事 五藤 実 \* (同志社生活協同組合専務理事)
- 理事 坂本 茂 \* (員外)
- 理事 坂本 真有美 (生活協同組合コープ自然派京都理事長)
- 理事 田中 弘 (京都医療生活協同組合専務理事)
- 理事 日岡 豊子 (京都生活協同組合理事)
- 理事 渡邊 明子 (京都生活協同組合理事長)
- 監事 酒井 克彦 \* (立命館生活協同組合専務理事)
- 監事 湯浅 美恵子 (京都生活協同組合常任理事)

## ●発言者と発言テーマ●



「京都大学との相互協力関係に関する協定の締結について」

京大学生協同組合  
中森一朗専務理事



「2012年度食育活動」

生活協同組合コープ  
自然派京都  
栗林真知子代議員



「脱原発活動について」

生活協同組合生活クラブ  
京都エル・コープ  
柳澤とよ子代議員



「2012年度の京都生協の特徴的な取組み」

京都生活協同組合  
若佐恭子代議員



「京都医療生協再建の戦い」

京都医療生活協同組合  
あぞみ祥子代議員



「TABLE FOR TWOの取組み」

京都府立医科大学府立大学生協同組合  
橋本健太代議員



同志社生活協同組合  
五藤実専務理事



「今出川新棟の新店の状況と新学期の取組み」

同志社生活協同組合  
岡田志穂副学生委員長



「京都消費者力向上委員会の活動」

京都府生活協同組合連合会  
右近裕子生協活動推進専門委員



「2012国際協同組合年記念大学生協寄付講座「協同組合論」の取組み」

大学生協同組合京都事業連合  
名和又介理事長



「府庁生協あんなことこんなこと現状と課題」

京都府庁生活協同組合  
篠塚和則代議員



「健康づくり講座の取組み」

乙訓医療生活協同組合  
赤塚賢一代議員

める声は世論調査でも高くなっています。

消費者基本法の制定以降、地方の消費者行政に関わる施策が充実してきました。昨年、消費者教育推進法が成立し、地域での消費者教育推進計画の策定が求められています。集团的消費者被害回復制度の早期創設も重要です。これらは、消費者市民社会をつくるうえで、いづれも大切なことです。

ICA(国際協同組合同盟)は、2020年までの「協同組合の10カ年計画」を決定しました。国際協同組合年の「協同組合がよりよい社会を築きます」のスローガンを引き継ぎ、協同組合間連携をより一層深めていかなければなりません。地域社会の課題と協同組合の課題が重なっているという認識に立ち、協同組合が持続可能な地域社会づくりにどれだけ貢献できるのか、協同組合の基本的価値についての社会的認知度を高めていくことが重要になっていきます。

少子高齢社会の到来は、中山間地に限らず、都市部でも買い物難民を生み、買い物支援などの暮らしをサポートする取組みへの期待がますます高まっています。

私たち生活協同組合は、地域・学園・職場の組合員の声にもとづき、地域社会の一員として、行政や他の協同組合組織、NPOなどの諸団体とともに、よりよい生活と安心してくらせる社会、人が人として大切にされる平和な社会をめざして、生協の事業と活動を創造的に展開していきます。京都府生活協同組合連合会も、府内における20の会員生協の連合組織として、その役割を發揮してまいります。

2013年6月18日  
京都府生活協同組合連合会

# 2013年国際協同組合デー 第24回京都集会

## 「ポスト国際協同組合年にむけて」をテーマに開催



2012国際協同組合年「協同組合がよりよい社会を築きます」をうけて

7月3日(水)、キャンパスプラザ京都で「2013年国際協同組合デー第24回京都集会」が開催され、J A、J F、森林組合、生協から172人が参加しました。

国際協同組合デーは、毎年7月第1土曜日を、全世界の協同組合員が心をひとつにして、協同組合運動の発展を願い、平和とよりよい生活を築くために、運動の前進を誓い合う日として、1922年に制定されたもの。

京都では毎年、京都府協同組合連絡協議会(構成/J A 京都中央会・京都府漁業協同組合・京都府森林組合連合会・京都府生活協同組合連合会)の主催で、記念集会の企画を実施しています。

ことしは「ポスト国際協同組合年にむけて」をテーマに、協同組合の原点と取組みにつ



京都府漁業協同組合・西川順之輔代表理事組合長が開会あいさつ

いて講演と報告がありました。京都府生活協同組合連合会・酒向直之事務局次長(当時)が司会を担当。京都府漁業協同組合・西川順之輔代表理事組合長が開会あいさつをしました。

つづいて、「協同組合が真に『協同』の受け皿になるために『ポスト国際協同組合年』にむけて」と題して、福井県立大学経済学部 北川太一教授にご講演をいただきました。

参加者からは「協同組合が担う役割や目標など、協同組合の現状の問題点を再認識し、理解することができました」「あらためて協同組合の大切さを見直す機会になりました」など多くの感想がよせ

られました。

各協同組合からは「協同組合の担い手が語る」と題した活動報告がありました。

参加者からは「4つの協同組合からの報告は興味深い」「前向きにがんばっておられる姿に勇気をもらいました」「熱意が伝わってきて、気持ちよかったです。期待します」などの意見がありました。

京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事専務が「きびしい情勢に立ち向かうために協同組合間協同を現実のものにしていこう。4つの協同組合が連携し、取り組んでいきましょう」と閉会のあいさつをのべました。



京都府森林組合連合会・青合幹夫代表理事専務が開会あいさつ

2012国際協同組合年——協同組合が真に「協同」の受け皿になるために

くポスト国際協同組合年にむけてく

福井県立大学経済学部 北川 太一教授

国際連合が定めた2012年国際協同組合年（IYC）

は、協同組合の社会的認知度を高め、その設立や発展を促進するために、政府や関係機関に働きかけることがねらいだった。

1年をふりかえると、全国各地で協同組合の役割や意義をめぐる学習会やシンポジウムが開催され、異種協同組合

間での交流がすすみ、協同組合間協同の機運が高まった。

協同組合の役割が広く国民にアピールされた。

しかし、ポスト国際協同組合年にむけて私たちをとりまく環境や課題を考えると、依然として市場原理主義や新自由主義がすすみ、それによる「対立」があり、とくに東日本大震災以降は急速な社会的・

経済的変革が進行している。単一のモノサシを使い、標準化や均一化がおしすすめられている。

こういう時にこそ、社会的に生み出された価値が最大化され、公平に配分されることを大

切にしたい。

いま、協同組合にもとめられる役割として、多様な個人の参加を重視し、「私益」「公益」「公益」の連鎖をつくること。人と人との互恵関係や自然環境など、非貨幣的経済にも光をあて、お互いが理解しあえる関係を小さな地域でつくり、そうしてできあがった小さな輪をゆるやかにつむいでいくことが大切だと考える。

そのために協同組合が地域の資源を守り、地域社会におけるつながりをつくろうとしている姿の「見える化」をはかることや、次世代のために農林漁業と食を育み地域を守っていくという共通の理念づくり、協同組合間協同をすすめていくことなどが期待されている。

次世代のために農林漁業と食を育もう



協同組合の担い手が語る

JA・JF・森林組合・生協から活動報告がありました

「のくに青壮年部12歳

く歩いてきた道く

J A京都にのくに青壮年部

吉川 直人



「園部町森林組合について」

園部町森林組合

渋谷 菜津子



「生産拡大！

高品質の育成岩がき」

舞鶴牡蠣組合岩がき部会

大下 敏明



「地域の組合員さんの

お役立ちのために！」

京都生活協同組合コープ桃山

上羽 祐子



# ピースアクション京都 2013

6月21日(金)、京都府生協連のよびかけで

生協組合員・役職員約120人がピースパレードに参加

今年で30回目

6月21日(金)、「2013年ピースパレード京都」が取り組まれました。「平和と核廃絶の願いをもちより、広島・長崎での世界大会につなげよう」との趣旨ではじまった京都の生協のピースパレードは、今年で30回目をむかえました。

京都府生協連のよびかけで、京都生協・コープ自然派京都・大学生協・医療生協・京都府庁生協などのほか、鳥取県の生協からの参加もありました。

## 平和の大切さをアピール

生協組合員・役職員120人が「京都のまんなかで、平和を叫ぼう!」楽しく、おしゃれに「美しく」をテーマに、街ゆく人びとに力よく訴えました。

直前に雨も上がり、パレードは、祇園石段下から四条通り、河原町通りをすすんで、京都市役所へ。歌をうたいながらの行進となりました。



京都府生協連・上掛利博会長理事、京都生協・渡邊明子理事長、京都医療生協・田中弘専務理事、京都府庁生協・今西静生専務理事、コープ自然派京都・柴垣千春専務理事が先頭をきって行進



鳥取県の生協のみなさん

それぞれが趣向をこらしたカラフルなコスチュームで参加しました。「平和が一番大事だよ」と大きな声でアピールしたり、楽しみながら平和の大切さをよびかける、はなやかでにぎやかな催しとなりました。

買い物客や外国人観光客からも、熱い声援をうけました。

円山公園で出発集会

パレードの出発を前に、円山公園内で集会が開かれました。京都生協・岩崎光枝さんが司会を担当、京都生協・渡辺初美・ビスパレード実行委員長があいさつをおこないました。

鳥取県の生協からの参加者をはじめ、各団体によるピースアピールがあり、それぞれの熱い思いが語られました。つづいて原水爆禁止国民平和大行進からのメッセージが紹介されました。



京都生協のみなさん

ゴールとなった京都市役所前では、まとめ集会がおこなわれ、京都府生協連・上掛利博会長理事が生協を代表してあいさつをおこないました。



「京都のまんなかで“平和”を叫ぼう!!」

2013年原水爆禁止国民平和  
大行進実行委員会へのメッセージ

※抜粋

東日本大震災と福島第一原子力発電所の事故から2年3カ月が経過しました。被災地では震災からの復興は遅れ、いまだ原発事故の収束も見通しがついていません。引き続き全国の生協とともに被災地の生活再建にむけての支援が求められています。国政においては、脱原発方針の見直し、TPP交渉への参加、消費税増額、憲法改正に向けての動きなど、日本の将来を左右する重大な問題について、十分な国民的議論が尽くされないまま拙速にすすめられようとしています。とりわけ憲法改定につながる96条の改正については、日本国憲法の基本原理のひとつである立憲主義の考え方や恒久平和の精神を大切にす立場からも、注目していかねばなりません。「健全な生活環境が確保される権利」「必要な情報が提供される権利」など、消費者基本法にも規定されている「消費者の権利」の視点に立って、国民合意を形成していく必要があります。2010年5月に開かれたNPT（核不拡散条約）再検討会議は、「核兵器のない世界の平和と安全を達成すること」を決議し、64項目の行動計画を柱とする最終文書を全会一致で採択しました。行動計画は、2015年の再検討会議で「核軍縮にかんする条約の締結について誠実な交渉をおこなう約束」を全面履行するための措置を吟味し、検討するとしていきます。このことを現実のものとしていくためには、多くの非核保有国と市民の運動のよりいっそうの前進がかかせません。平和行進の取組みが、そのための力つよい一歩となることをあらためて確認しましょうではありませんか。

2013年6月21日

京都府生活協同組合連合会

会長理事 上掛利博

京都の生協・平和のつどい

（竹本成徳さん（元コープこうべ理事長・兵庫県ユニセフ協会会長）を招いて）

6月1日（土）、せいきょう会館で開催し、55人が参加しました。若い世代に戦争や被爆体験を伝える機会とすること、会員生協がすすめている平和の取組みについて交流し、いっしょに

できることを考える機会とすることを目的にもたれたものです。



広島での戦争被爆体験を語る

前のご自身の広島での戦争・被爆体験についてのお話をしていたいただきました。

会員生協による活動交流では、大学生協京滋・奈良ブロック学生委員会から2012年度平和・国際活動推進委員会の活動報告、京都生協から2012年度平和の取組みについて報告がありました。

参加者からは、竹本さんのお話について「本で読むものとは全く違うインパクトをもった」などの感想がよせられました。

京都生協・有地淑羽常任理事の司会・進行により、竹本成徳さん（元コープこうべ理事長・兵庫県ユニセフ協会会長）から、「いのちを伝える」と題して、68年



大学生たちと交流

きょうと食育ネットワーク通常  
総会



大谷貴美子副代表が開会あいさつ

6月22日(土)、京の食文化ミュージアム・あじわい館で開催されました。同ネットワーク副代表の大谷貴美子教授が開会のあいさつ。第1号議案「平成24年度事業報告」、第2号議案「役員選任」、第3号議案「平成25年度事業計画(案)」は、すべて承認されました。

同ネットワークは、食育に关する普及・啓発、情報の収集・提供、食育支援活動の登録・提供などの取組みをおこなっており、保健衛生、農林水産、教育、大学、商工、消費者団体、報道関係など幅広い分野から88団体が会員登録しています。

総会終了後、「きょうと食育講演会」が開催され、精進料理人・棚橋俊夫氏が「野菜の力 精進の時代」と題して講演されました。

ました。

京都府生協連からは、廣瀬佳代常任理事、坂本茂専務補佐・事務局長(兼務、当時)、川端浩子事務局担当が参加。今年度から酒向直之事務局次長(当時)が同ネットワーク幹事をつとめることになりました。

第1回きょうと食の安心・安全  
意見交換会

6月26日(水)、京都府庁福利厚生センターで開催されました。京都府健康福祉部・余田正典副部長が開会のあいさつ。京都府農林水産部食の安心・安全推進課・川崎淳司理事が「牛海綿状脳症(BSE)とその対策」について報告しました。

厚生労働省医薬食品局食品安全部・今西保BSE対策専門官から「牛海綿状脳症(BSE)検査の見直しについて」の報告があり、京都府中丹広域振興局中丹西保健所・安藤明典食肉・試験検査室長から「と畜場での



京都府健康福祉部・余田副部長が開会あいさつ

食肉処理の現状について」の報告がありました。

京都府生協連からは廣瀬佳代常任理事、坂本茂専務補佐・事務局長(兼務、当時)、川端浩子事務局担当が出席しました。

京と地球の共生府民会議総会

6月5日(水)、京都府福利厚生センターで開催されました。提案された「2012年度事業実績・収支決算」「2013年度事業計画・収支予算」「運営委員の委嘱」など、全議案が承認されました。京都府生協連からは酒向直之事務局次長(当時)が出席しました。

京と地球の共生府民会議は、地球温暖化対策をはじめとする地球環境等の保全対策を府民運動として円滑かつ効果的に推進し、環境保全にかかわる中核的活動を担うことを目的に、48の団体が活動しています。

京都くらしの安心安全ネットワーク情報交換会

7月1日(月)、京都テルサで開催されました。京都府消費生活安全センター・竹田厚子副センター長が開会あいさつ。相山学園大学現代マネジメント学部・東珠実教授が「今、地域や社会へ貢献できる仕組みづくりとは」と題して講演しました。

同ネットワークは「複雑化、

悪質化する消費者問題に迅速に対応し、被害の未然防止、早期発見、早期救済を図るために」ネットワーク参加団体間の連携と情報交換、交流を促進し、府民参画による取組みをすすめることを目的に設置され、現在46団体が登録しています。

大学生協と消費者教育推進法にもとづく具体化をすすめていくことも報告されました。

京都府災害ボランティアセンター総会

6月29日(土)、ハートピア京都で開催されました。提案された議案「2012年度事業報告・決算報告・監査報告」「2013年度事業計画・予算」「役員改選」はすべて承認されました。

京都府災害ボランティアセンターは、被災地で円滑なボランティア活動をとおこない、早期復旧につくすことを目的として活動しています。あらたに5団体が加入、31団体となりました。

京都府生協連・酒向直之事務局次長(当時)が同ネットワーク運営委員をつとめています。

総会終了後、研修会「防災人」養成講座を開催し、「防災人」(\*)の心得、地域防災の基礎知識、災害ボランティアセンターとの連携、災害図上演習として地域の安心安全マップづく



京都府災害ボランティアセンター・宮本隆司代表

りなどについて学びました。

\*「防災人(ほんさいびと)」：地域社会において、災害時のみならず平常時から、率先的にそれぞれの地域の特性を理解し、その特性に応じて防災・減災活動をおこなう人。

京都市ゴミ減量推進会議総会

6月7日(金)、平安会館で開催されました。高月紘会長は同推進会議について「将来は法人化をめざしたい」「地域のエコ推進の流れのなかで開催された総会であり、事業者、市民、行政がパートナーとなってエコな街をめざそう」とのべました。

同推進会議は廃棄物の減量推進のために、市民・事業者・行政の三者が協力して取り組もうと1996年に発足しました。参加団体は431会員、総会には116会員が出席しました。

京都府生協連・横山治生専務理事が同推進会議理事に選出されました。

京の農産物あんしんネットワーク総会

6月6日(木)、京都JA会館で開催しました。提案された議案「2012年度活動報告・収支計算書報告・監査報告」「定款の附則の一部変更」「2013年度活動計画・収支計算書」「役員改選」は、すべて承認されました。



酒向直之理事(京都府生協連事務局次長[当時])が議案説明

「京の農産物あんしんネットワーク」(以下、KAS)は、検査事業と交流事業(農業塾)の2つを柱にしておこなってきました。総会では、KAS設立からおよそ10年が経過するなかで、これまでおこなってきた事業活動の見直しをおこないました。

「生協の電力事業研究会報告書」学習会



日本生協連環境事業推進室・高多洋さん

7月2日(火)、せいきょう会館で日本生協連環境事業推進室・高多洋さんを講師に、公益社団法人生協総合研究所がまとめた「生協の電力事業研究会報告書」の学習会を開催しました。

京都府生協連はNPO法人コンシューマーズ京都、くらしと協同の研究所と連携し、省エネ・節電の推進と再生可能エネルギーをテーマに学習・調査・企画を検討するプロジェクトを発足させました。

今回の学習会は、第1回目プロジェクト会議とあわせて、公開学習会として開催したものです。

学習会の後にプロジェクト会議がおこなわれ、「ふだんはコセンソトの向こう側にある世界

について知ることもなく、勉強の機会になった」「省エネこそがもつともクリーンな発電に匹敵する」「エネルギー問題に関する住民の意識や現状がどうなっているのかをまず把握したい」など、足元からエネルギー問題を考え、いく方向でプロジェクトをすすめていくことなどが話し合われました。

省エネ・節電調整連絡会議

5月29日(水)、ルビノ堀川で開催されました。京都府文化環境部・石野茂環境・エネルギー局長が開会あいさつ。「昨年は計画停電を想定したが、大飯原発の稼働と節電で夏を乗り越えた。2010年度最大電力比で8・7%の節電の定着を前提に、数値目標は決めないが、9%を目安に節電をお願いしたい」とのべました。

節電期間は7月1日～9月30日の平日9:00～20:00(8月13～15日をのぞく)となります。

京都府生協連からは横山治生専務理事が出席し、「3・11以降全国の生協組合員の節電意識は高まっており、エネルギー多消費型社会やライフスタイルからの転換がもたられている。電力会社も省エネ効果の『見える化』措置に努力してほしい」とのべました。

学習交流企画「わたしの省エネ・節電宣言」2013年夏



京都府文化環境部エネルギー政策課・平井裕子課長

7月1日(月)、京都の節電期間キックオフの日にあたって、省エネ・節電の取組み交流とライフスタイルの見直しを推進するために、京都府生協連、NPO法人コンシューマーズ京都、京都生協のよびかけで開催しました。

京都府生協連・右近裕子生協活動推進専門委員が司会を担当、横山治生専務理事があいさつをおこないました。

京都府文化環境部エネルギー政策課・平井裕子課長から「京都府の節電対策とエネルギー政策」について、ご報告いただきました。

京都府生協連会員生協からは、京都生協CSR推進室・中垣延広業務担当リーダーが「店舗で

の省エネの取組みと組合員さんが取り組んだ家庭での節電の知恵」、京大生協理事会室・井崎宏子さんが「京大生協のエネルギー使用抑制の取組み」について報告しました。

省エネ普及ネット・京都「家庭の省エネアドバイザー」の金澤良彦さん、深川佳子さんのご協力で、参加者一人ひとりから節電診断シートに記入してもらったデータをパソコンに入力して、コメントしていただきました。

閉会にあたり、NPO法人コンシューマーズ京都・原強理事長がまとめた発言をおこないました。原理事長は「今年の夏は政府や京都府からの節電数値目標の提起はないが、報告にあった取組みを他の団体や個人にも広げ、京都から節電・省エネの先進事例をつくりあげよう」としめくくりました。



省エネ普及ネット・京都「家庭の省エネアドバイザー」深川佳子さん(左)、金澤良彦さん(右)

# 京都府生協連 第8回 「京都の生協活動を豊かに発展させる協議会」

～組織と事業のイノベーションによる協同組合のあらたな価値の発見・創造の場として～

テーマ

## 総代会の充実・参加を考える

4月16日(火)、せいきょう会館で開催しました。役員あわせて20人が参加しました。第8回のテーマは、「総代会の充実・参加を考える」でした。京都府生協連・上掛利博会長理事が開会にあたってのあいさつをのべ、中森一朗副会長理事がコーディネイターをつとめました。

コープ自然派京都・坂本真有美理事長からは、総代の選挙区を京都市内と市外にわけて選出していること、5月末から6月初旬にかけて2カ所で総代交流会を開催し、議案書の事前説明をしていることなどが報告されました。



コープ自然派京都・坂本真有美理事長

生活クラブ京都エル・コープ・上総紫香子常任理事からは、組合員どうしの助け合いシステムであるエッコロ制度を利用した託児を設けていること、昼食には生協商品を使



生活クラブ京都エル・コープ・上総紫香子常任理事

った弁当にしていること、総代会の午後を活用し、学習会の開催や生産者との交流の機会にしていることなどが報告されました。



京都生協組織運営部・松井静二機関運営担当チーフ

京都生協組織運営部・松井静二機関運営担当チーフからは、総代の選出時期を2月から総代会終了後の6月中旬から7月中旬に見直したことから9月に総代オリエンテーションを開催し、以降10月、2月、3月、5月に議案書検討の場を設けていること、総代どうしで考えあえるようにすることなどが報告されました。



京都大学生協・中森一朗専務理事

京大生協・中森一朗専務理事からは、総代選出の考え方、各キャンパスで事前の総代会議を開催していること、総代会にむけての広報計画、教職員理事の定数を減らしていることなどが報告されました。

大学生協京滋・奈良ブロック・増田暁仁学生委員長からは、実出席率90%以上をめざしていること、総代会の認知度を高めること、総代勉強会、模擬総代会、総代交流会などを開催していること、議論の質を向上させていくことなどが報告されました。



大学生協京滋・奈良ブロック・増田暁仁学生委員長

### おもな行事のお知らせ

#### 寄付講座・協同組合論

日時：8月27日(火)～31日(土)  
10:50～16:00  
会場：キャンパスラザ京都

2013年度京都府総合防災訓練  
日時：9月1日(日)午前  
会場：主会場・宮津市

京都府協同組合第13回交流体験学校  
主催：京都府協同組合連絡協議会(JA中央会・JF)

京都・森連・生協連  
日時：9月12日(木)12:15～13日(金)12:30(予定)  
会場：京都府漁業協同組合本所など  
テーマ：京都の水産業について学ぶ

2013年度勤労者健康づくりフェア  
主催：京都労働者福祉協議会

日時：10月6日(日)  
10:30～16:00  
会場：テルサ・フィットネスクラブ

京都環境フェスティバル2013  
主催：京都府・京と地球の共生府民会議ほか

日時：12月14日(土)～15日(日)  
会場：京都府総合見本市会館  
※京都府生協連は会員生協の環境商品取組み紹介で出展予定。

CO-OP

発行 京都府生活協同組合連合会 TEL 075(551)1551  
URL http://www.kyotofu-seikyoren.com E-mail kyotofu-seikyoren@ma2.seikyoren.jp  
〒604-0851 京都市中京区烏丸東側 せいきょう会館2階